

気候変動が天水栽培穀物の 潜在的生産能力に与える影響予測

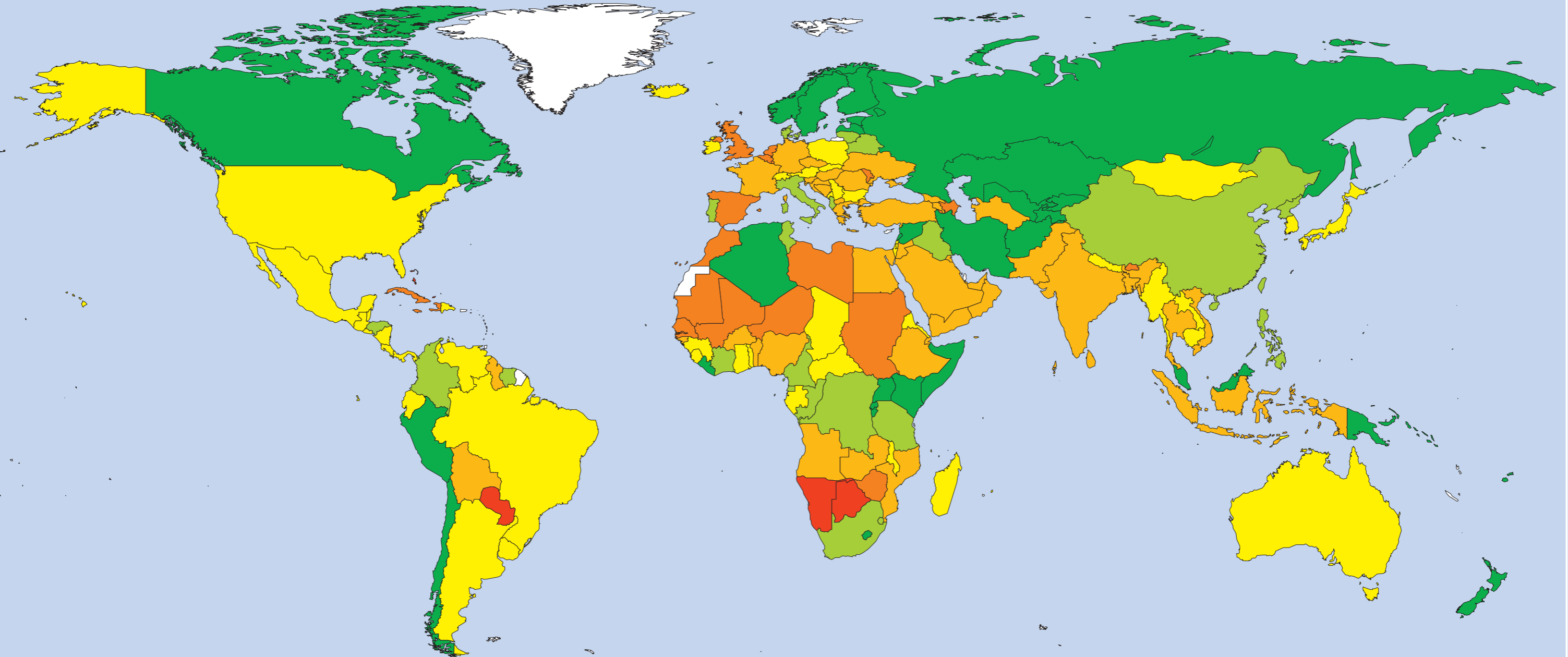
Projected impacts of climate change on rainfed cereal production potential



この地図は、1992-1993年当時の耕地と天水穀物生産の潜在能力を持つすべての土地に対し、気候変動が2050年までに穀物生産能力に与える影響（1961-90年を基準とした割合の変化）を示したものです。データは、3つの全球気候モデルの平均値から算出した国ごとの気候予測に基づいたものです。

気温が上昇すると、低温が制約要因となっている高緯度地域ではプラスの影響を受ける可能性が高いものの、農地開発の設備投資が必要です。降水量が制約要因となっている低緯度地域では、マイナスの影響を受ける場合が多く、特に低緯度地域に集中している開発途上国では、飢餓や貧困の状況がさらに悪

化する恐れがあります。FAOは、作物の単収を上げるための農業技術の普及や改良品種の開発、調査研究への更なる投資を訴えています。



生産量の変化（1961-1990年を基準とした2050年の変化）

データなし
 -50% 以下
 -50～-20%
 -20～-5%
 -5～5%
 5～20%
 20% 以上

出典：「Global Agro-ecological Assessment for Agriculture in the 21st Century: Methodology and Results」FAO / IIASA, 2002